

# たちばな学び館だより

2023年12月号 発行：たちばな学び館・高崎地域生活課

毎月第3日曜日は、「家庭の日」です。  
ご家族お揃いで読書はいかがですか？



たちばな学び館所在地

〒889-4592

都城市高崎町大牟田 1150 番地 1

電話とファックス 0986-45-8181

## たちばな学び館は、小さな図書館です！

たちばな学び館は、高崎総合支所2階にあります。

土曜日・日曜日は、東側の警備員室前 出入口を御利用ください。



### 【休館日】

毎週月曜日、祝日、12月29日～1月3日、  
6月1日～6月15日

宮崎県立図書館・都城市立図書館の  
蔵書も、たちばな学び館で借りたり  
返したりできます。

### 【開館時間】

午前9時30分～午後1時、午後2時～午後5時（午後1時～午後2時は閉館です。）

### 【館外貸出】

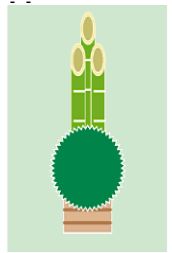
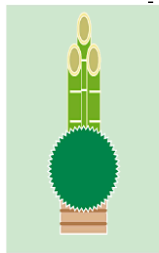
一度に3冊まで、うち新刊1冊（未返却含む）、期間は2週間です。

### ★★★お知らせ★★★

12月29日から1月3日までは、年末年始の休館です。

今年の開館は12月28日（木）までです。

令和6年は、1月4日（木）から開館します。



## 新刊案内・こども向け



などなど……♪



### 『サンタさんはどうやってえんとつをおりるの？』

マック・ハートネット／徳間書店

サンタさんは体が大きいのに、どうやってえんとつをおりるの？  
えんとつのない家にはどうやって入るんだろう？  
ぺたんこになって、ドアの下から、入ってくるの？  
水道の蛇口から、にゆるっと出てくる？

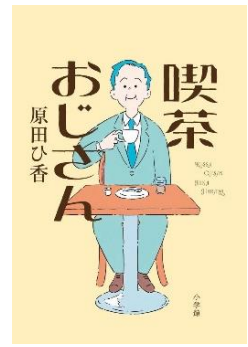
誰もが一度は不思議に思ったことがあるサンタさんの永遠のナゾを、とびきりゆかいな絵本にしました。



### 『ゆきうさぎのクリスマスげきじょう』 レベッカ・ハリ／世界文化社

ゆきうさぎのピートくんは、明日はクリスマスという朝、素敵なことを思い  
つきました。クリスマス劇場を開いて森のみんなを集めようというのです。  
開演に向けた準備で大忙しの中、友だちの出し物を一緒に考え手伝っていたら、  
なんと開演時間になってしまい……。素敵な友情に心弾むお話です。

## 新刊案内



### 『喫茶おじさん』 原田 ひ香／小学館

人生もコーヒーも、苦いけれどうまい。

『三千円の使い方』の著者が描く、グルメ×老後×働き方！

松尾純一郎、バツイチ、57歳。大手ゼネコンを早期退職し、現在無職。

妻子はあるが、大学二年生の娘・亜里砂が暮らすアパートへ妻の亜希子に移り住んで約半年、現在は別居中だ。趣味は「喫茶店、それも純喫茶巡り」にしよう。

コーヒーとその店の看板の味を楽しみながら各地を巡る純一郎だが、苦い過去を抱えていた……。たくさんの問題を抱えながら、今日も純一郎は純喫茶を訪ねる。

### 『星を編む』 凧良 ゆう／講談社

☆2023年 本屋大賞受賞作『汝、星のごとく』続編！

前作で語りきれなかった愛の物語。

「春に翔ぶ」・・・瀬戸内の島で出会った權と暁海。二人を支える教師・北原が秘めた過去。彼が病院で話しかけられた教え子の菜々が抱えていた問題とは？ 他「星を編む」「波を渡る」

愛の果て、そして、その先を描く、新しい愛の物語。



### 『あなたが誰かを殺した』 東野 圭吾／講談社

最初から最後までずっと「面白い！」至高のミステリー体験。

閑静な別荘地で起きた連続殺人事件。愛する家族が奪われたのは偶然か、必然か。残された人々は真相を知るため「検証会」に集う。

そこに現れたのは、長期休暇中の刑事・加賀恭一郎。

私たちを待ち受けていたのは、想像もしない運命だった。



### 『やる気1%ごはん』 まるみキッチン／KADOKAWA

☆2023年 第10回 料理レシピ本大賞 大賞受賞！

【料理の労力を最小化しています】

(文字を読むのが苦手) ⇒細かい説明をはぶいた、短めのレシピです。

(火加減が難しい) ⇒レンジや炊飯器でも美味しく作れるレシピも紹介しています。

(買い物がしんどい) ⇒主材料が少なめなので、家にある材料でもつくれます。

(考える気力がない、でも美味しいものは食べたい) ⇒考えなくて大丈夫。500品あるので食べたいものが見つかります。



この他にも新しい本がたくさん入っていますので、お気軽にお越しください♪